

1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	情報	科目	社会と情報		単位	2	単位
対象コース	カレッジ・美術	コース	対象クラス	1 年	情B以外組		
使用教科書	実教出版 『最新社会と情報 新訂版』 (社情311)						
使用副教材	実教出版 『最新社会と情報 新訂版 学習ノート』 (社情311)						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

- (1) 情報化が社会に及ぼす影響や課題について理解し、情報社会に積極的に参画する態度を育てる。
- (2) メディアの特性を踏まえ、情報を適切に収集・処理し、信憑性を判断したうえで、責任をもって発信する力を身につける。
- (3) 情報機器や情報通信ネットワークを活用し、他者とコミュニケーションをとりながら協働して問題を解決する力を身につける。
- (4) 情報機器や情報通信ネットワークのしくみを理解し、進展する情報社会に対応する基礎的な知識を習得する。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

- ①パソコン操作の基礎：パソコンの操作方法・タッチタイピングについて学ぶ。
- ②各種アプリケーションソフトのスキル習得
文書作成：Wordの基本操作を学びながら、ビジネス文書の作成方法について学習する
表計算作成：Excelの基本操作を学びながら、それぞれの表に適したグラフ作成やWordとの活用を学ぶ。
プレゼン：プレゼン技術について学びながら、テーマに絞った内容でグループ発表を行う。
- ③情報モラル：著作権や肖像権などについて、視聴覚教材を利用しながら学習する

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

筆記対策として、学習ノート（ワーク）を中心に解いていく形になる。授業中のパワーポイントとは別に、先生が話す言葉にも耳を傾け、その言葉をノートなどにまとめて自学学習を行える習慣をつけるとよい。実技対策として、1日10分でもいいのでタイピング・表計算・ワードなどの練習をするとよい。

(2) 家庭

その日学習した内容を学習ノートで、復習する学習習慣を定着させてください。また、実技対策としては家庭でのタッチタイピングなどの練習を実践することを勧めますが、学校内の情報処理室を昼休みや放課後について解放しておりますので、すこしの時間でもかまいませんので練習をする習慣があるといいかもしれません。

3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

評価方法：何を使って評価するのか

- ①定期考査：第2回考査、第4回考査を行う。
- ②日々の授業中の課題提出：授業中に課題を提示する。（ファイルを提出、または印刷して提出）
- ③定期考査後のノート（学習ノート）の提出
- ④授業中の態度など

評価における定期考査の割合

30 %

4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 関心・意欲・態度

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響や課題について関心を持ち、他者を尊重して情報社会の一員として積極的に参画する態度を身につけている。

(2) 思考・判断

収集・分析した情報をもとに論理的に思考することができ、情報の受発信時においても、情報モラルの観点から適切に判断することができる。

(3) 技能・表現


情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用し、問題を解決し、状況に応じてメディアを選択してコミュニケーションを行うことができる。

(4) 知識・理解

情報機器や情報通信ネットワークを適切に活用する知識を身につけるとともに、情報および情報技術の社会的意義や役割について理解している。

5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×	
1	4	<ul style="list-style-type: none"> 情報処理室の使用方法 ログイン・ログアウトについて 携帯電話との付き合い方 情報モラル (著作権・ネチケット・肖像権) 	配布されたIDとPWについて 個人情報であることを認識する。 DVDを用いて以下のことを学習する ・どんな風に携帯電話と付き合うことで 安心、安全に利用できるのか ・情報社会で生きていく上で必要になる 情報モラル、セキュリティについて 学ぶ。	●			●		
	5	第1章 情報社会と私たち <ul style="list-style-type: none"> 情報社会 情報とメディア 情報モラルと 社会のルール 	教科書と学習ノートを使って進める 実例などを使いながら、DVDで学んだ 知識を活用していく。 第1章終了後、知識の定着具合を確認の ために小テストを実施	●	●				
	6	文書作成について 	キーボードによる入力操作ができる 例題文章を毎日10分間でどれだけ入力 できるか練習する。 実際に行われた検定問題を例題として 文書作成の基本操作を学習する				●		
	7	第2回考査 第2章 情報機器とデジタル表現 <ul style="list-style-type: none"> 情報機器とデジタル デジタル表現 	筆記試験と実技試験（タイピング試験） デジタルの世界が「0」と「1」で構成されていることを 実際に目で見てわかるような実例を見ながら学習する デジタル表現の単元では、特に2進数の計算が中心的な学 習内容となるため、2進数⇄10進数の計算を反復的に問題 を学習する。	●			●		
	2	8	第3章 表現と工夫 <ul style="list-style-type: none"> 表現の工夫 	1学期で学習したWordの復習を前半行う				●	
		9	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトの利用 	Excelを使用する上で重要となる関数 以下の関数を重点的に学習する ・SUM関数 ・AVERAGE関数 ・MAX関数 ・MIN関数 ・RANK関数 ・IF関数					
		10		ここからは 検定で実際に使われた問題を用いながら 実際の表計算では、どのように関数を 使用していけばいいのか学ぶ				●	●
11		第4回考査	筆記試験と実技試験（表計算）	●	●	●	●		

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	12	・プレゼンテーション 	2～3人のペアを作り、各クラスに大テーマを設定し、それに関係する班ごとに小テーマを決定し、そのテーマについて調べ、発表を行う。 年内をめどに企画書を完成する。	●	●	●	●	
3	1		企画書に基づいた内容をインターネットを利用しながら、調査をする	●		●		
	2		中間発表 ここでの反省点を最終発表までにフィードバックさせていく			●	●	
	3		最終発表 中間発表での反省点を訂正したものを発表を行う 評価については、生徒同士で相互評価を実施する。			●	●	
		1年間の振り返り						